



うさぎぐみだより 7月

尚徳福祉会 とちょう保育園

暑さも日に日に増して、本格的な夏もすぐそこまで来ているようです。一日中雨が降ったり、日が当たると汗をかくほど蒸し暑かったりと、体調管理が難しい毎日ですね。そんななか子どもたちは元気いっぱい、公園で走ったり、ボールを蹴ったりしながら思い切り楽しんでいます。今月から水あそびが始まります。ばしゃばしゃ、ちゃぷちゃぷ、今年はお顔に水がかかってもへっちゃんになるかな？ 楽しみです！

おしらせ

7月から新しいお友だちが入園します。



～ 7月のわらい～

- ・水に親しみながら、保育士や友だちと遊びを楽しむ。
- ・夏の自然（虫・草花・野菜）に触れる。

水あそびを通して、楽しみながら水の感触、冷たさなどに親しみます。また、夏の自然に触れて生き物や植物への興味や関心をひろげていきたいと思ひます。



ちぎちぎ、ぺったん、できた

先日、七夕に合わせた制作を行ないました。折り紙をちぎって夜空をつくり、おりひめとひこぼしに☆星型☆のシールを貼りました。折り紙をちぎることはなかなか難しく、紙を両手で引っ張ってみたりぐしゃぐしゃにしてみたり…とみんなな試行錯誤。ちょっと裂け目ができるとそこからびりびりできることがわかり、みんなどんどん上手にちぎることができるようになりました。次はちぎった折り紙を糊で紙皿に貼りつけます。糊を初めて使う子も多かったようで、ベトベトした感触に戸惑いながらも、糊をつけると「落ちない」「くっつく！」と言ったり、「わあ！」と一様に驚いていました。これからも子どもたちの自由な発想を大切に、指先を使ったり、道具を使ったりしながら制作を楽しんでいきたいと思ひます。また、七夕の短冊へのご記入、ありがとうございました。短冊や飾りにぎやかになった笹を見るのもうさぎ組の子どもたちの楽しみになっています。みんなの願ひごとが叶いますように…☆

